



# みせん

瀬戸内海国立公園  
宮島地区パーク  
ボランティアの会

第59号

発行日  
平成27年3月1日

## ◇ 目 次 ◇

- |    |                       |     |                                       |
|----|-----------------------|-----|---------------------------------------|
| P2 | PV の会 臨時総会・役員改選       | P8  | 弥山登山道補修および清掃、投稿「鳥帰る」                  |
| P4 | よろしく一再任された新役員・幹事の抱負   | P9  | 新春弥山登山                                |
| P5 | 「鷹ノ巣高砲台」公募観察会アンケート結果  | P10 | トンボ生息地環境整備、コバンモチの樹木ネット保全確認活動、海辺の野鳥観察会 |
| P6 | 入浜定点観察④および維持管理作業④     | P11 | 編集後記                                  |
| P7 | 観音寺山（極楽寺山）魅力再発見トレッキング | P12 | 事務局連絡事項                               |



（コーラス！それとも餌をねだっているの？）

昔懐かしい童謡の「春がきた」を唄ってみましょう。

一番では「春がきた」二番では「花がさく」そして、三番では「鳥がなく」となっています。

春を待ちわびて子どもの頃はよく唄ったものです。さて まもなく春がやってきます。その春を届けてくれる幼鳥を作りました。プラタナスの実を二つ重ねて、おめめはフウセンカズラ、おくちはピスタチオ、巣はかずらで作ってみました。この小鳥のかわいい赤ちゃんが、何の小鳥に見えるかはみなさんのご想像におまかせします。

寒かった冬が過ぎて新会員を加えた新年度

も大活躍できることを祈念して、会員の皆様に「みせん 59 号」で春をお届けします。

（写真・文 小方嗣彬）

## 4 月 4 日（土） 定期総会

平成 27 年度 PV の会・定期総会を開催しますので、多数ご出席ください。

日時 4 月 4 日（土）10：00～12：00

（受付 9：30～）

場所 宮島町 杉之浦市民センター

※欠席の人は委任状を提出ください。

※午後からは小なきり浜の植物観察会・清掃活動と入浜池補足調査①を実施します。

## ◆PVの会 臨時総会・役員改選◆

PVの会では、昨年12月6日（土）宮島市民センターに於いて、臨時総会を開催しました。会員総数49名中、出席会員36名、委任状提出者8名でした。

出席会員 足立 岩崎 大西 小方（嗣）小川 金山 川崎 河村 北野 黒木  
小林ペア 小林（寛）坂本 佐渡 佐藤（佐）佐藤（庸）渋谷 島 末原 田中 兎谷  
中道 錦織 野呂田 平田（広）平野 檜和田 舛田 松田 宮本 村上 柳瀬 山崎  
横路 呼坂

委任状提出者 小方（為）奥田 五石 佛崎 三次 山本 吉崎 六重部

環境省 榊自然保護官 武石自然保護官

### 1. 臨時総会関連

#### (1) 9:15 全体打ち合わせ

##### 環境省 榊自然保護官挨拶

瀬戸内海国立公園制定 80 周年記念大会が昨年 7 月四国高松市で開催された。また 弥山展望台の 2F が完成した。

##### 環境省 武石自然保護官挨拶

会員の清掃のおかげで宮島がきれいになってきている。

##### 村上会長あいさつ

・本日は幹事選任と来年の活動計画の提案をお願いしたい。特に新しい若い幹事の選任や新しい活動計画をお願いしたい。

・来年（27 年）は会創立 15 周年にあたる。15 年を振り返ると、無事故であったことや環境省、国土交通省の表彰を考えると一定の社会的評価を受けていると感じている。

・今年度は、高松市での活動 PR、「瀬戸内しまのわ 2014」への参加、ラムサール・ミヤジマトンボ協議会への参加があった。これらを含め活動状況は逐次会誌「みせん」に掲載している。

・来年度については、会員の体力・心も一年一年高齢化していることを考えてもらいたい。来年度は 7 名の新入会員を迎える予定である。

・コンプライアンス（法令順守）については、宮島は法規制がきびしいところではあるが、法律の網をくぐるような行為はやめたい。

・安全については、公募観察会などの場合は下見の確実な実行、行事計画に掲載していない行動は環境省の保険の対象外であることを認識してほしい。

### 観察・環境整備・広報各部長

今年度の活動概況報告（詳細は省略）

#### (2) 10:00 部会打ち合わせ

・任期満了に伴う新幹事の選出  
・H27 年度活動計画立案についての意見交換・提案

新任幹事の選出はなく、前期幹事全員の留任

#### (3) 11:00 臨時幹事会

・新幹事による互選により、新役員・監査員は全員の留任

#### (4) 11:30 臨時総会

##### ・役員改選

総会前の臨時幹事会で互選された原案どおり承認された。

##### 「幹事」

観察部会 小林 勲（部会長）

小川加代 北野孝幸 中道勉

舛田祐子 村上光春 呼坂達夫

環境整備部会 末原義秋（部会長）

川崎昭壽 小林寛致 佐藤佐十四

佐藤庸夫 島千代喜

広報部会 平田広三郎（部会長）

足立清 岩崎義一

##### 「役員」

会長 村上光春

副会長 岩崎義一 末原義秋

会計 舛田祐子

「監査員」 足立清

##### ・観察部会からの報告

行事中止基準

小なきりから大なきり間の観察

宮島自生のゲンカイツツジの観察

##### ・環境整備部会からの報告

岩船岳登山（新会員歓迎）御床浦出発

（以下 3 ページに続く）

入浜清掃定時 4 回 臨時 1 回

大砂利地蔵付近清掃

行事中止基準

・ 広報部会からの報告

「みせん」1 号から 19 号の CD 化、  
準備号・1 号から 40 号までの製本

・ 意見

スコップの点検・整備を

ラムサール・トンボ協議会の協議  
内容を適宜会員に通知を

トンボ生息地の環境について

(環境省 清掃については委員の  
意見を聴取中。イノシシについては  
檻で捕獲し処理は猟友会にお願いし  
ている。観光客への被害が心配)

2. 広報部会主催の研修会 13:00~

会員 33 名、新会員候補者 3 名 聴講

(1) 「宮島の観光空間における高齢者の  
地域貢献活動に対する調査」

講師 会員 宮本雄介

2013 年 11 月の「宮島地区パークボラ  
ンティアの会」と「NPO 法人宮島ネット  
ワーク」を対象としたアンケート調査の  
結果を基に、グループの中核を担う高齢  
者(おおむね 60 歳以上)の意識や活動内  
容を上記報告書に基づき話された。調査  
内容は、属性(男女別・年齢構成・居住  
地・出身地・就業の有無)、活動年数、参  
加した動機、宮島の自然環境・観光に対  
する課題、豊かな自然・歴史文化の継承、  
活動参加の交通費や他団体への所属状態  
など多岐に亘っている。我々が漠然と意  
識していたことがデータから裏付けられ  
たことは大変意義深いと思います。



(講演する宮本会員)

(2) 「ようこそ宮島」

講師 会員 佐藤庸夫

宮島・弥山の登山ガイド歴 7 年・約 1500  
回の経験から話された。観光客の最近の風  
潮は、老若男女を通じて歴史に疎く、また  
信仰心が薄いことを上げられた。しかし興  
味を持つ人ばかりでなく、観光の人が対象  
であればやむを得ないことかも知れません。  
ただマナーには気を付けているとのこと。  
さて宮島案内の方は、古事記・日本書紀の  
日本神話からスタートし、厳島神社・客人  
神社・大元神社の生い立ちまで話が行きま  
した。話の中で、「さんき」の言葉が珍しく  
出てきましたが、これは「山貴(さんき)」・  
「三姫(さんき)」・「三鬼」のいずれでしょ  
うか? 気になるところです。



(講演する佐藤会員)

3. 年末懇親会 15:00~

環境省 2 名、会員有志 22 名、新会員候補  
者 3 名参加の年末恒例「山村茶屋」での牡  
蠣バーベキューで、年忘れの懇親を図った。  
曾ては一斗缶に入った牡蠣を二缶平らげて  
いましたが、最近は一缶です。そのせいで  
はないでしょうが、今年は少し黒字だった  
ようです。



(焼牡蠣製造中)

(文 平田広三郎 写真 川崎昭壽)



よろしく！

## 再任された新役員・幹事の抱負

### 会長 村上 光春

引き続き会長の役を担わせていただきます。よろしくをお願いします。これからも、安全とコンプライアンス（法令順守）をモットーに、宮島の素晴らしい自然・文化・歴史を楽しみながら、無理のないボランティア活動を進めていきたいと思っています。

### 副会長 岩崎 義一

引き続き副会長の役目を務めさせていただきますので よろしくをお願いします。今年では会の発足 15 周年、また新しい会員を迎えて 新たな気持ちで臨みます。

### 副会長・環境整備部会長 末原 義秋

宮島の自然と景観を維持するために頑張りますのでご協力をお願いします。

### 観察部会長 小林 昴

引き続き観察部会の役を引き受けることになりました。これからも自然の素晴らしさ、文化、歴史などをボランティア活動を通じて伝えたく、又、お役に立てればと思っています。皆様のご指導、ご協力をより一層お願いします。

### 広報部会長 平田 広三郎

会誌「みせん」は会活動の記録ですが、今年度は他部会の会員を含めて、編集希望者の研修を進めたいと思います。

### 会計 舛田 祐子

引き続き会計を担当します。元気に活動しながら、気を引き締めて務めてまいります。

### 監査員 足立 清

引き続き監査員を務めます。PV の会発足時からのメンバーですが、外を歩ける間は続けたいと思っています。

### 幹事 小川 加代

幹事経験も 15 年！早いものです。世の移ろいに合わせ、幹事も変わるべきと思うこのごろです。

### 幹事 川崎 昭壽

会報誌「みせん」の編集作業を新入会員に早く、スムーズに引き継ぐように努力し、益々の会発展の助けになればと思っています。

### 幹事 北野 孝幸

宮島は世界遺産に続き、平成 24 年のラムサール条約登録などで訪れる観光客も年々増加しています。

さらにエコツアーというキーワードも注目されています。従って当会の活動は更に重要視されてくると思います。このような大事な時期ではありますが幹事という大役を引き受けさせていただきます。以前にも増して会員の皆さまのご協力を頂きながら邁進したいと思っています。

### 幹事 小林 寛致

常に目新しい観点を持ちながら、皆さんと楽しく取り組める様に精進して参りますので、今後ともよろしくお願いします。

### 幹事 佐藤 佐十四

早いもので、あっという間に幹事 3 期目を迎えます。美しい宮島の自然と環境を守るため、微力ではありますが頑張ります。

### 幹事 佐藤 庸夫

最近時々考える。あと何年体力が維持できるか。10 年は大丈夫だろうかなどと。PV は個性豊かで楽しいメンバーばかり。ちょっとした役にも立ちたいと思うが教えて頂く方が多い。出来るだけ長く皆様とお付き合いしたい。

### 幹事 島 千代喜

幹事としてがんばります。よろしく！

### 幹事 中道 勉

最近、公募観察会などの活動内容や運営がマンネリ化し、新鮮さや独創性が薄れていることから再検討するべきであると反省している。

よって新リーダーの育成に全力を注ぎたいので、時間の許す限り仲間に呼び掛け、研修や下見などを共に実施したいものである。

### 幹事 呼坂 達夫

宮島の自然の豊かさと素晴らしさが年の経過と共に感じるようになりました。この自然をいつまでも保全しながら皆さんと楽しんで行きたいと思っています。中でも観察部会では海辺の生き物の紹介です。

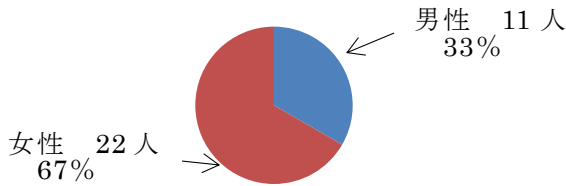


今期もよろしく

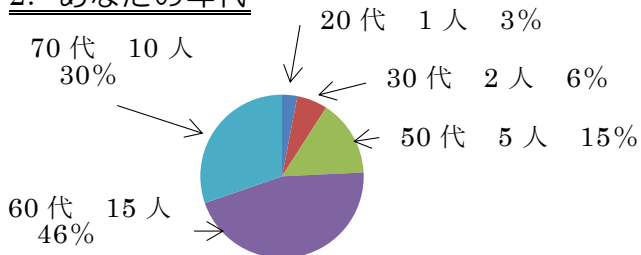
# 平成26年11月22日「鷹ノ巣高砲台」公募観察会アンケート結果

( 参加者 35名 回答者 33名 )

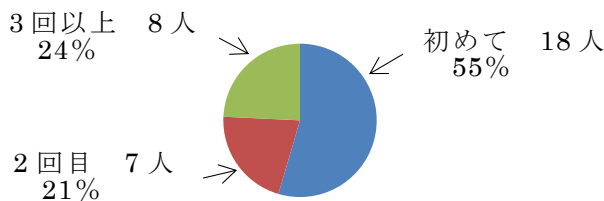
## 1. あなたの性別



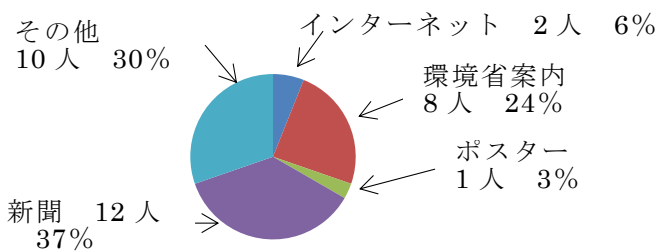
## 2. あなたの年代



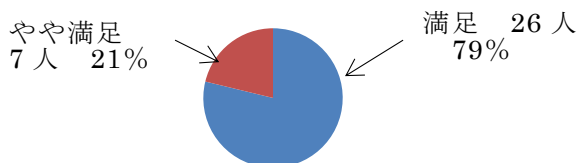
## 3. 参加された回数



## 4. 行事を知った媒体



## 5. 行事に対する感想



## 6. 参加した目的

- 20代: 体を動かしたい 山登りをしたい
- 30代: 山に興味があるから  
登山が好きだから
- 50代: 高砲台跡指令所に行ってみたくためと  
体をリフレッシュさせるため  
宮島の自然、遺跡に興味があったため  
自然や歴史に興味がある  
宮島が好き、自然が好き

- 秋の宮島の自然の説明を聞きながら  
と歴史に触れることに興味があって
- 60代: 宮島の自然、植物、野鳥に興味がある  
体を動かしたい  
「鷹ノ巣高砲台」を知りたかった  
宮島全体の歴史、自然に興味がある  
もう一つの宮島を知るハイキング
- 70代: 宮島の自然を楽しみたくて  
植物観察、砲台  
体を動かしたい  
大野で育ちましたが、宮島の自然・歴史について知りませんでしたから  
高砲台の歴史について

## 7. 観察会の内容について

- 20代: 砲台跡や植物のことが知ることができ、とても勉強になりました
- 30代: いろんな植物が知れて見て楽しかった
- 50代: 丁寧に詳しい説明でとても良かった  
初めてで、宮島にこんなところがあるのかと思いました
- 60代: 植物のことが勉強できた  
植物について大変詳しく教えていただき大変良かったです 砲台跡については初めてでしたが、本で知るより実際に聞いた方が良く理解できました  
内容が盛りだくさんで良かったです  
砲台についてはかなり聞き漏らした  
天気に恵まれ、気持ちの良い一日でした  
興味深い話を聴かせていただいた  
下調べができていて、知識が豊かなリーダー(ガイド)で、毎回楽しみで実りが多い観察会です  
色々なレンガ・石造りが見られた  
とても親切に指導、手に取って教えていただきました  
知らない宮島を感じました
- 70代: たくさんの内容に驚きです  
植物の名前等聞いてよかった感動!  
木のしくみの素晴らしさに驚嘆することしばしばでした  
ユーモアのある説明で良かったです  
わずか9人の班でも説明が聞こえにくいことがあって、分からないのがあった  
また 来年、海辺の生物についてもしてください (台風でダメになったから)  
説明の聞き取れないことがあり残念

## 8. 講師・テキストについて

- 20代: お話が面白かったです
- 30代: とても詳しく説明して頂いて良かったです  
覚えるまでは難しいですが・・・
- 50代: テキストもわかりやすいです  
講師によって説明の内容やスキルに差があると感じた  
とても良かった 楽しかった  
( 以下 6 ページに続く )

( 6 )

み せ ん

- 60代：楽しく面白い説明で良かったです  
大変詳しく説明して頂きよく理解できました  
質問にも丁寧に答えていただいた  
テキストはカラーで、解り易くよく出て参考になりました  
歩く時間こえないことがあり残念  
70代：講師の方がすばらしく感謝します  
花、葉の様子等の写真での説明でよくわかりました  
解説と貴重な資料、大変良かったです

## 9. その他

- 70代：砲台の説明、もう少し時間があつたらエピソード付で時間が早く過ぎた

## 10. ご意見、ご要望について

- 20代：ありがとうございます お疲れ様  
30代：弥山に登りたいです  
また機会があれば参加したいです  
50代：定期開催希望 新聞募集がよかった  
今後も頻繁に継続してほしい  
次回も参加したい  
60代：今後も参加したい  
室浜砲台の見学会も開いてください  
自然・歴史について、時期を変えて再度お願いしたい  
宮島での観察会を楽しみにしています  
8月は台風で残念でしたが、海の観察も楽しみにしています 子供達とも参加したいです  
山登りの経験がないので、歩くのに集中しました  
今日はありがとうございました  
70代：春の花の時期にも参加したいです  
機会があれば参加したいです ありがとうございます  
海辺の生物もお願いします

( まとめ 舛田 祐子 )

## 入浜池定点観察④および 維持管理作業④

日 時：2月14日(土) 9:00～  
12:00

天 候：晴れ

出席者 大西 小方(嗣) 小川

奥田 恩田 川崎 黒木

小林ペア 佐藤(佐) 末原 中道

錦織 平田(広) 檜和田 松田

柳瀬 山崎 横路 吉崎 六重部

【環境整備】 末原義秋

イノシシが土のうを崩して水路を塞いでいたので土のうの整備を行う。  
イノシシの問題は自然との係わり合いがあるので何ともし難いところもあります。皆さん よい意見があり

ましたらお願いします。シガラ(柵)を組むのがよい方法だと思いますが、お金の問題もありますので今後の課題だと思います。

その後は海辺のゴミ拾いを行いました、かなりの量がありました。

### 【植物】 六重部篤志

未だ春になったばかりなので花が咲いているのはヤブツバキだけ、今からもっともっと色々な花が咲くことだろうと思います。気になったのはヒトモトススキが部分的に枯れたのが目立っているようです。これは水位が下がって枯れたのか？原因についてはわかりませんが気になるところです。奥側の土地の中をフェンス越しに覗いてみれば雄鹿が死んでいるのが見えた。原因は病死だそうです。

### 【昆虫】 松田 賢

特に目立って動きはなかったです。この時期トンボはヤゴか卵ですが確認することはできませんでした。ヒトモトススキの新芽のところをかじっている形跡がありますが鹿ですかね。それと根元を掘り起こしているのはイノシシでしょうか(?)。

### 【野鳥】 大西 順子

特に変わったことは無かったです。魚を捕るカモの仲間のウミアイサの♀を一羽確認、エナガが群れをなして飛んでいた。ジョウビタキ(冬鳥の代表的な鳥)、シロハラも見られた。カワウが海面すれすれに500羽ぐらい(なかには738羽と言う人も?)飛んでいて(下記写真を参照)、この時間帯には珍しい光景でした。



(カワウが水面上2mぐらいを東から西へ、ほんの2・3分の出来事でした。写真 中道 勉)

(以下7ページへ続く)



## 【水質調査】 小川 加代

今日は土のうが整備される前の状態を測るため出口付近のF地点から始める。塩分濃度は0.06%、CODは5。水も結構溜まっていて杭より+4cmでした。他のところでは塩分濃度は0.06~0.07%で山水が湧き出る奥の川は0.00でした。至る所で氷が張っていて一番厚かった箇所はF地点で3mmぐらいでした。水中ではイノシシの糞があらこちらで見られた。C地点は9、10、今月と水の無いため調査不能でした。

## 観音寺山（極楽寺山） 魅力再発見トレッキング

日 時：11月30日（日）

10：00 登山口

12：00 極楽寺展望台（昼食）

12：30 雨の為ミニ講座中止下山開始

14：30 屋代コース登山口にて解散

天 候：曇りのち雨

参加者 岩崎 大西 小方（嗣）川崎

北野 小林ペア 坂本 村上

一般参加者 20名 観音台公民館 1名

観音台公民館への協力行事で毎年行っている。天候に不安がありましたが実施することにしました。山陽高速道の高架の下の舗装道路を歩きながら登山口に向かう途中の草むらの中にフユシャクガがたくさん飛んでいた。下見の時には数匹ぐらいしか確認できなかったが、今日は数え切れないほど飛んでいた。名前の通り冬を中心に活動する変わった蛾である。

登山道入り口付近では小方（嗣）リーダーが珍しい植物を発見、他の場所ではあまり見かけられないそうです。ミソナオシと言うマメ科の植物です。実はたくさんの毛で衣服に付きやすい。昔、悪くなった味噌にこの葉を入れると味が回復したそうです。

岩崎会員より「左観音道」の標石と町石の説明を受ける。昔は単なる登山道ではなくお参りする為の参道だったそうで、極楽寺まで13丁あるそうです。

坂本リーダーは「冬イチゴ」は美味しいので食べて見て下さいとの説明でみんな手にとって味見をしている。

北野リーダーは、一両（ツルアリドオシ）、

十両（ヤブコウジ）、万両（ヤブコウジ科）は極楽寺にはあるが、百両（カラタチバナ）、千両（センリョウ科）は見かけないとのこと。周りの樹木をよく見てください、樹木が光を求めて上へ上へと伸びていく様子がよくわかるでしょうと自然の原理を解り易く説明されている。

鳥の囀りで名前を確認する大西会員は今、樹木に実がたくさん付いているのは冬の小鳥たちにとっては非常に大切なものであることを説明された。

地面に広がるふかふかの茶色いじゅうたんのの上を歩く体験はこの時期でないと味わえないことです。森の表情が生き生きと豊かで多種多様の色鮮やかな木の実が晩秋の極楽寺の森を賑わす。



（晩秋の木漏れ日）

昼食後の北野、小方（嗣）、大西会員のミニ講座を楽しみにしていましたが、雨が本降りになってきたのでやむを得ず中止とし下山としました。今回は視覚障害者の方が二名参加されましたが、お二人とも非常に元気で私たちもパワーをいただいた。



（極楽寺本堂）

## 【下見】

日 時：11月23日（日）

参加者 川崎 北野 黒木 小林ペア

村上 観音台公民館 2名

（文・写真 小林 颯）

## 弥山登山道補修および清掃

日 時：12月13日（土）9：00～15：30

天 候：晴れ時々小雪ちらつく

参加者 小方（嗣）小川 黒木 小林ペア  
佐藤（佐）末原 兎谷 平田（広）村上  
山崎 吉崎

環境省 武石自然保護官

新会員候補者 麻生 猪谷 大林 前田  
山本 森

冷え込みの厳しい朝でしたが午前9時、  
藤棚に集合した会員等 18 人は宮島ロープ  
ウェイ（株）のご厚意でロープウェイに乗り、  
10 時には獅子岩駅に到着できました。



（小雪があつたロープ  
ウェイ・獅子岩駅）

今日の予定は、ここから2グループに分  
かれ、それぞれ登山道の前半分、後半分を  
清掃しながら弥山頂上をめざし、午後は同  
様に、大聖院ルートを下るというものです。

獅子岩はうっすら雪化粧、ぴんと張りつ  
めた空気は冷たく、青空はすがすがしく、  
ロープウェイのおかげで体力も十分あるこ  
とに感謝しつつ、箒やスコップを握る手  
には自ずと力がはいります。箒では、路上  
の落ち葉を掃き落とし、スコップでは側溝  
などに溜まった泥を取り除きますが、落ち  
葉が多いところもあり、どちらも重労働です。

時折雪がちらつく寒さでも、登山道には  
観光客が絶えることなく、日本人・外国  
人を問わず笑顔と「ありがとう」の言葉  
をたくさん頂戴し、心が温まりました。また、  
思わぬ発見もありました。枯葉の中に赤  
い実のツルアリドオシを見つけたこと、木  
々がこんなにもたくさんの葉を落とし山  
や海を育んでいるのだということ、箒を  
持たなければ気付かなかったかもしれま  
せん。

弥山頂上の新しい展望台で昼食を済ませ

たあとは、大聖院ルートを下り、大聖院前  
に着いたのは15時過ぎ。



（縁側感覚の眺望が味わえる、  
新展望台の2Fで昼食）

自画自賛は少し恥ずかしいのですが、写  
真を撮るのも忘れてしまうほど一生懸命清  
掃したので、登山道は本当にきれいになり  
ました。木々もほとんど葉を落としていた  
ので、これで新年を気持ちよく迎えられ  
ることと思います。



（交代々々で清掃）

（文・写真 小川 加代）

投稿

「鳥帰る」

黒木隆信

ひと柄杓汲むや閑伽井の寒の水  
パネル手に七種語る御仁かな  
コンベヤー軋む牡蠣小屋百合鷗  
なだれ込む千の河鵜や春の磯  
引く鳥の竜巻めくを呆然と



## 新春弥山登山（自主観察会）

日 時：1月10日（土）9：00～15：00

天 候：晴れ

参加者 足立 岩崎 小方（嗣）北野  
黒木 小林（勲）佐渡 佐藤（佐）兎谷  
中道 野呂田 村上 柳瀬 山本 横路  
吉崎 新会員候補者 麻生 猪谷 前田  
増田 森 環境省 大高下 AR

【報告文】 村上光春

宮島栈橋前の藤の棚に9時集合。総員22名。研修中の新会員候補者5名の参加もあり、例年に比べ賑やか。それぞれ年頭の互礼のあと、小林部会長から「今年も安全、安全、安全第一・・・」、村上会長から「自己の体力・気力・智力にマッチした活動を・・・」との年頭挨拶。

例年通り、紅葉谷公園で服装と持ち物を再点検し、9時40分出発。

7号堰堤付近から群生するヤブツバキには、今年も花がほとんど見られません。「地球気象変動」の証しでしょうか。

左手に次々と現れる砂防堰堤は、昨年8月広島市安佐地区を襲った土石流災害のニュースをあらためて思い起させます。

標高320～380mでは自生限界のミミズバイの生育状況と樹高の観察です。ここでビックリ。道路から少し離れた所に自生するミミズバイの頂部がなぜか折られています。不可思議！

霊火堂前広場へ11時過ぎ到着。登山や参詣の多くの老若男女で賑わっています。ここで心待ちしていた鏡餅割りは明日とのこと。弥山本堂の横では当会会員が思いを込めて手当てしている「錫杖の梅」が昨年に増して勢いを取り戻しています。春の開花が待たれます。

石段を登り、三鬼堂にお参りしたあと、大石が少しずつ動いていると噂されるくぐり岩の天井高さを測定し、頂上広場へ12時前到着。

登山客で賑う新装なった展望台や標高標識を見ながらの昼食。続いて紙芝居「冬至・七草・節分」の学習と記念の集合写真です。

12時半過ぎ下山開始。今年下山は久しぶりに回り道の大元道です。途中で元気の



（ 新年の顔です ）

いい人は駒ケ林の大岩に寄り道して記念撮影。

上りに続き下り道でも、当会「多士済々」氏による解説がありました。「仁王門」・「駒ケ林」・「大師洞、風穴洞」「ヤマグルマ、タラヨウ、ヒトツバ」「岩海、富士岩」「国立公園特別地域」「弥山原始林境界石標」「町石保全」・・・などについてです。



（ 駒ケ林の大岩にて ）

（ 写真 いずれも 大高下 AR ）

大元神社の鳥居へ15時過ぎ全員「無事」到着。

今回の新年登山のトピックスは、当初ロープウェーでの下山を心積もりされていた、当会 NO.1、NO.2 の高齢会員が長丁場の全行程を完歩されたそのパワーと、新会員候補者の溢れる学習意欲、そしてこれらが現会員に与えた強い刺激でしょうか。

当日は好天にも恵まれ、今年も幸先よいスタートとなりました。

【ミミズバイ】 岩崎義一

| 番号 | 標高 (m) | 樹高 (cm) | 幹回り (cm) |
|----|--------|---------|----------|
| ①  | 380    | 81      | 4.7      |
| ②  | 350    | 66      | 3.3      |
| ③  | 340    | 135     | 4.8      |
| ④  | 320    | 152     | 6.0      |

（ 以下 10 ページに続く ）

① については、下記の写真のように上部約 60 cm が手折られていた。  
(折られたミミズバイ) (折れた五町町石)



【大元ルート・町石】 岩崎義一

大元道 五町町石が、上記写真のように真ん中で折れていました（以前から亀裂が入っていました）。

【くぐり岩】 岩崎義一

くぐり岩の間隔は 190.5cm でした。

### トンボ生息地環境整備

日 時：2 月 19 日（木）13：00～16：00

主催：ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会

参加者 岩崎 恩田 五石 佐藤（佐）

佐藤（庸）末原 中道 松田

ミヤジマトンボ生息地 2 箇所の清掃作業を、保護管理連絡協議会員を含めた 21 名で実施し、64 袋のゴミを収集した。

1 箇所の生息地では、水路の土砂堆積により水の流れが悪く、水質の悪化によりヤゴの生育に影響を与えるため、4 月に水路の復旧作業を行う予定です。皆様のご協力をお願いします。（文 末原 義秋）

### コバンモチの樹木ネット

#### 保全確認活動

日 時：2 月 21 日（土）9:00～14:00

天 候：曇

参加者 岩崎 小方（嗣）小川 川崎 北野 黒木 小林（勅）小林（寛）佐藤（佐）佐藤（庸）末原 兎谷 檜和田 村上 横路 広島大学 坪田 向井 内田

コバンモチは、南方系の植物で宮島が北限の貴重植物です。宮島では室浜の広島大学宮島植物実験所より西側の内侍岩～大江東付近に自生しています。これらの樹木の

生育状況およびシカの食害から防止するために取付けた樹木ネットの保全状況を広島大学と協同で調査しました。

調査は 3 班に別れ、2 年前（H25 年 2 月）の調査結果と比較しながら進めました。枯死した木（5 本）、以前のリストにはあるが場所不明になった木（3 本）、番号札のない新発見となった木（4 本）などで生木確認数 86 本でした。継続的な観察は必要だと思いました。また、番号札の取替およびシカ駆除網の拡張・補修を複数本実施しました。



(新発見の若い木)

コバンモチは急斜面に生えているものが多く、接近するのは大変でした。アクセスを良くするため生い茂ったシダを刈りたくなりますが、シダを刈ると鹿が入り易くなり新芽を食べてしまうそうです。

中国新聞社の同行取材がありました。

（文 川崎 昭壽 写真 岩崎 義一）

### 海辺の野鳥観察会（自主観察会）

日 時：1 月 31 日（土）9：00～12：00

天 候：曇り、小雨・みぞれ交じり

場 所：廿日市市地御前海岸周辺

参加者 大西 小方ペア 小川 奥田

川崎 北野 黒木 小林ペア 小林（寛）

佐渡 佐藤（佐）佐藤（庸）末原 田中

中道 野呂田 平田（広）柳瀬 横路

野鳥の会 高橋姉妹

時折冷たい北風の吹く 9 時、廿日市市の地御前神社の前に 21 名の会員が集合した。講師の大西会員が「心強い助人」と紹介された高橋姉妹の応援を得て観察会が始まった。

まず、大西講師から写真パネルを用いて、この季節に見ることが出来る鳥類の説明を  
(以下 11 ページに続く)

受け出発となった。

いきなり、境内でヒヨドリの鳴き声が聞こえる。近くの樹上で囀るその姿を双眼鏡で捉えることが出来た。

コースは歴史を感じる大歳神社～釈迦堂～石垣堤防の残る地御前漁港へ。途中で、木々の梢のツグミやムクドリなどの山鳥を観察する。民家の屋根の TV アンテナに止まったジョウビタキの姿も。

地御前漁港では、停泊中の漁船の波間に数羽のオオバンやヒドリガモ、カイツブリなどが泳いでいる。船の上や波止場にはユリカモメ、セグロカモメ、ズグロカモメなどのカモメ類。

牡蠣殻置場の近くには、コサギ、ダイサギ、アオサギなどが並んでいる。一見、同じ様に見えるカモメやサギ類の見分け方は、クチバシの模様や足の色が目安と教わる。漁港での海鳥と漁に携わる人々との関わりも興味深い。

突然、大西会員の「ギンムクドリが居る！」の声。頭上近くの電線に止まった白い姿を、参加者が代わるがわる望遠鏡で見る。その希少な出会いの機会に感動した。



(視認されたギンムクドリ写真 大西順子)

葦の茂る入江状の調整池では、葉陰のコガモ、カルガモを身近で観察出来た。その近くの堤防を越えた外海には、牡蠣養殖の竹ヒビが並ぶ広大な干潟が広がっている。

カワウが止まっている牡蠣ヒビの足元の干潟では、沢山のカモ類が餌を漁っている。広島湾近辺では滅多に見られないツクシガモがいたが、今年は数羽飛来しているとのこと。その明るい褐色の襟巻き状の模様ははっきりと見える。おしなべて、雄鳥たちは鮮やかな色彩である。マガモやヨシガモの緑色の頭、見る角度によって変わる羽の色、カモメたちの黄色いくちばし、オオバンの白と黒のコントラスト。望遠鏡を覗き

ながら、その美しさに感嘆の声が上がった。

カモ類に混じり、シロチドリ、ハマシギが忙しく干潟を行き交い、餌を捜し啄んでいる。遠くに水鳥の大きな群れが数グループ、羽を休めているのが見える。その数は、数百羽を超えているのでは無いかと思える。

御手洗川の河口に広がる大きな干潟。その向かいに宮島や似島などの島々が眺められる。岸壁はコンクリートに固められた防波堤で、決して自然海岸とは言えないが、極楽寺山に連なる山々からの水を集めた御手洗川の流れ、遠浅の広い干潟、牡蠣養殖場や漁場としての豊かな海、渡り鳥にとって好適な条件が整っているのであろう。

観察会の途中、みぞれ混じりの天候となったが、42種類もの山鳥、水鳥の観察が出来て楽しい観察会であった。

【鳥の種類】ツクシガモ オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ スズガモ ウミアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン シロチドリ イソシギ ハマシギ ユリカモメ ズグロカモメ ウミネコ セグロカモメ トビ コゲラ ハシボソガラス ヒヨドリ メジロ ギンムクドリ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ アオジ 計 42 種

(太字は近辺では珍しい鳥)

( 文 横路 晃 )

◇ 編集後記 ◇

1 月 考古学の講演会に何気なく行ったところ、宮島について新しい展開が始まっていることに気づき驚きました。2006 年頃から考古学的アプローチにより、宮島の山岳信仰を解明しようとする研究が始まっていたのです。今後に期待したい。(平田広)

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方

環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区八丁堀 6 番 30 号

広島合同庁舎 3 号館 1 階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455